

沖縄周辺海域で2021年9月の海面水温が 9月として最も高い値を記録

沖縄周辺海域の「東シナ海南部」、「沖縄の東」及び「沖縄の南」の各海域では、2021年9月の月平均海面水温がそれぞれ29.1℃、29.8℃、29.9℃（ともに速報値）となり、解析値のある1982年以降、9月としては最も高い水温となりました（「沖縄の南」は1位タイ）。

1. 沖縄周辺海域の2021年9月の月平均海面水温

沖縄周辺海域（別紙図1）では、期間を通して平年より高い状態が続きました。速報値による2021年9月の月平均海面水温と平年差は、「東シナ海南部」が29.1℃（平年差+1.1℃）、「沖縄の東」が29.8℃（同+1.3℃）、「沖縄の南」が29.9℃（同+0.9℃）となり、解析値のある1982年以降9月としては最も高い水温を記録しました（「沖縄の南」では1998年と並んで1位タイ。別紙図2及び表）。

2. 海面水温が高くなった要因

沖縄周辺海域では、期間中は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、海面が平年より多くの日射を受けたことに加え、平年より風が弱かったことも重なり、海面水温が平年よりかなり高くなりました。なお、地球温暖化との関係については、評価海域が狭く年々の変動も大きいことから、温暖化の影響を評価できる状況ではありません。

3. 今後の見通し

向こう1か月の沖縄周辺海域の海面水温は、東シナ海南部と沖縄の南では、平年よりかなり高いでしょう。また、沖縄の東では、平年並か平年より高いでしょう。

海面水温の最新の状況と詳しい見通しは、気象庁ホームページの「海洋の健康診断表 海面水温・海流（沖縄周辺海域）」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f_6/jun_OK/kaiyo_OK.html

問合せ先：沖縄気象台 地球環境・海洋課 担当 本山・藤本
電話：098-833-4065

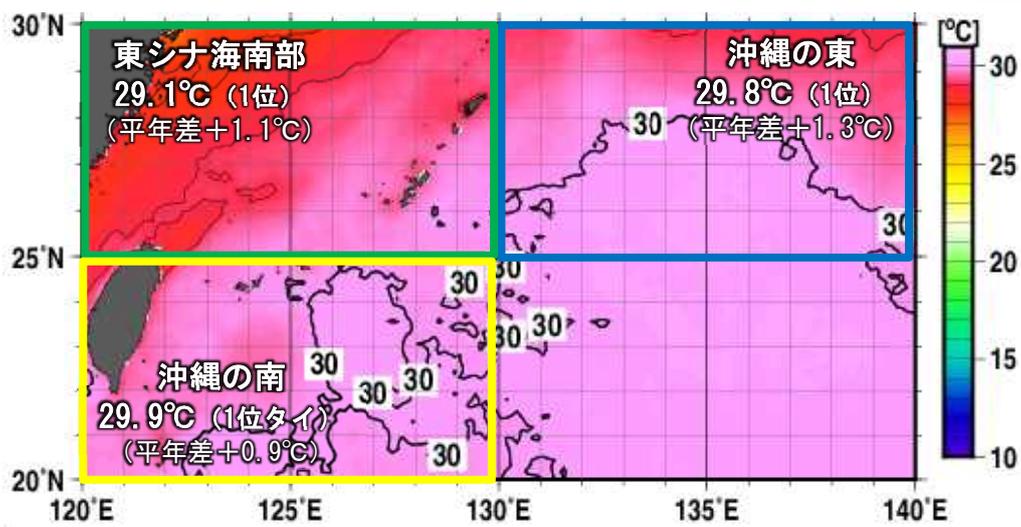


図1：沖縄周辺海域の月平均海面水温分布図(2021年9月)(速報値)

人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された2021年9月の月平均海面水温の分布(凡例は右側)。緑枠(左上)が「東シナ海南部」、青枠(右上)が「沖縄の東」、黄枠(左下)が「沖縄の南」の各海域に対応。

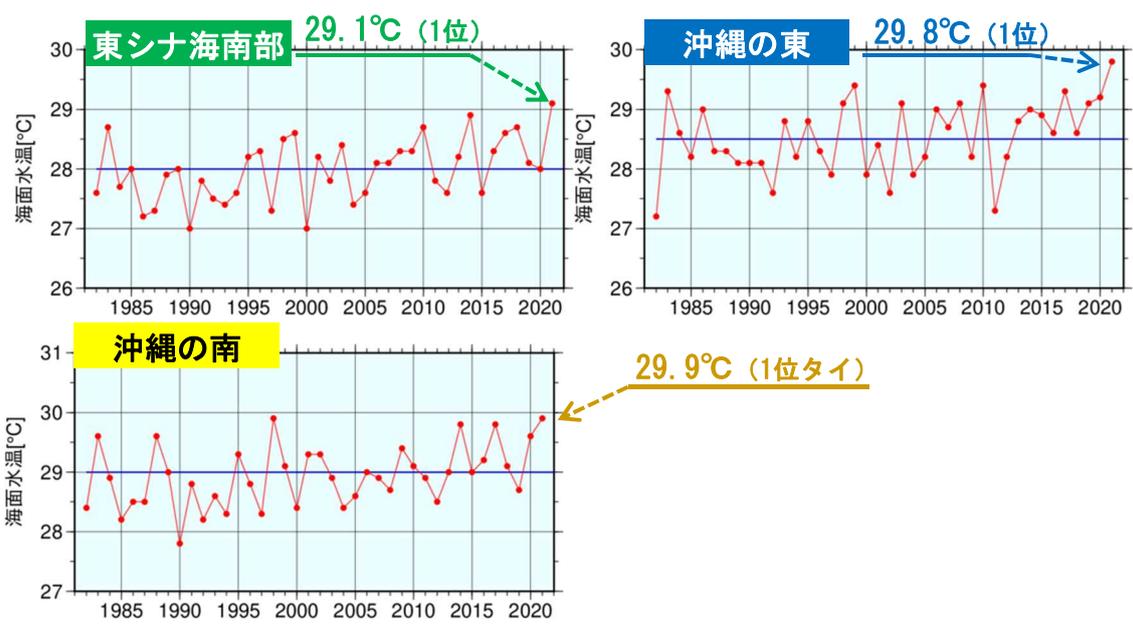


図2：9月の沖縄周辺海域での月平均海面水温の経年変化

青線は平年値(統計期間：1991年～2020年)。2021年の値は速報値(下の表も同じ)。

表：沖縄周辺海域で9月の月平均海面水温が高かった年(上位順)

東シナ海南部			沖縄の東			沖縄の南		
年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)
2021	29.1	+1.1	2021	29.8	+1.3	2021	29.9	+0.9
2014	28.9	+0.9	2010	29.4	+0.9	1998	29.9	+0.9
2018(*1)	28.7	+0.7	1999	29.4	+0.9	2017(*2)	29.8	+0.8

*1 他に1983、2010年

*2 他に2014年